

AAガイドライン

インターネット

英語版発行：ゼネラル・サービスオフィス(GSO)

日本語翻訳版発行：NPO 法人AA日本ゼネラルサービス(JSO) 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

AAガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験の分かち合いをまとめたものである。また、このガイドラインには、12 の伝統と評議会(アメリカ/カナダ)の方針が盛り込まれている。主体性の伝統に従い、他のグループまたはAA全体に影響を及ぼす事柄を除いて、グループの決定のほとんどが、そのグループに属するメンバーの良心によってなされる。このガイドラインの目的は、十分に情報を伝えられたグループの良心が導き出される手助けをすることである。

*訳注 アメリカ/カナダのAAの実情に即した内容のため、必ずしも現在の日本のAAに適応するものではありません。

AAの伝統とインターネット

私たちはAAのウェブサイト上で、AAのあらゆる原理と伝統を尊重している。

アノニミティ——アノニミティは「私たちの伝統全体の霊的な基礎である」ため、私たちは、一般に公開されるウェブサイト上でも常にアノニミティを実践している。

パスワードで保護された会員専用のものでない限り、AAのウェブサイトは公のメディアであり、したがって、私たちが新聞やラジオ、映像のレベルで用いるのと同じ安全手段が必要である。つまり、フルネームや顔写真を掲載して自分がAAメンバーだと名乗らないようにするということである。インターネット上のアノニミティについての詳細は、このガイドラインの「インターネット上でアノニミティを守る」を参照していただきたい。

宣伝よりもひきつける魅力——私たちの共同創始者であるビル・Wが言ったように、「広報には多くの形態がある——「今晚AAミーティングがあります」と書かれた会場入り口の簡素な看板、地元の電話帳への掲載、AAの書籍類の配布、高度なマスメディア技術を用いたラジオやテレビの番組などもそうである。個人的な接触であれ、第三者やマスメディアを通してであれ、どのような形であろうと、「一人の酔っぱらいがもう一人の酔っぱらいにメッセージを運ぶ」ということに変わりはない。

自立——伝統7に従いAAは費用を自分で支払っており、このことは、インターネット上の世界においても同様である。混乱を避け、提携や支持、宣伝だと思われるのを防ぐために、ホスティングサービスの選定には注意が必要である。ウェブサイト委員会は、強制的な広告の表示スペースがあったり、コマーシャルのリンクが表示されたりするようなホスティングサービスは使わないようにしている。

提携せず、支持もしない——AAの他のウェブサイトリンクすると、サイトの視野を大きく広げるというメリットが多い。しかし、リンク先がAAであっても注意を払う必要がある。AAの各機関は自主的に運営され、自分たちのグループの良心を持っており、他のAAのグループの良心にとって好ましくない情報が表示されるかもしれないからである。これがいつ起こるか予想することはできない。

経験によると、AA以外のサイトへのリンクは、さらに多くの問題をはらんでいると言える。これらのサイトはAAでないものや、論争の元になるようなものを表示する可能性が高いだけでなく、リンクすることで、提携ではないと

しても支持しているかのように受け取られ兼ねないからである。結論として、他のサイトにリンクすることを考えているなら、慎重に進めることが強く提案されている。

ウェブサイトのホスティングサービスを選択する場合にも同様の注意が必要である。無料のホスティングサービスの多くが、サイト内に強制的な広告やリンクを表示することを要求している。これについて、ほとんどのAAのウェブサイト委員会が、広告に表示された製品やサービスに対して、実際あるいは暗に、提携や支持をしていることになると考え、強制的な広告やリンクを含まないサービスを利用してウェブサイトを作るほうが賢明であると理解している。

ゼネラル・サービスオフィス(GSO)は、ウェブサイトの運営においてこのような危険を回避するために、外部へのリンクについては、よく知るAAのサービス機関のみに制限するようにしている。また、リンクを使って外部のサイトに移動する際、退出メッセージが表示されるようにしている。(この退出メッセージは、訪問者が PDF ファイルを読むときに必要となるアドビ・リーダーのようなソフトウェアにアクセスする場合にも有効である)

インターネット上でアノニミティを守る

AAにおける現代のコミュニケーションは、ハイテクかつ制限があまりなく、急速に進化しつつある手段を使って、一人のアルコールリクから別のアルコールリクへと流れている。インターネットへのアクセスがますます増えるメンバーにとって、アノニミティを守ることは大きな懸念事項である。ウェブサイトに関するAAの経験の分かち合いをまとめた参考資料として、GSO サービス資料「AAウェブサイトについて問合せの多い質問」がある。次に挙げるのはその中の質問7である。

質問:アノニミティについては?

ウェブサイトに関しても、私たちはAAのあらゆる原理と伝統を遵守している。「アノニミティは私たちの伝統全体の霊的な基礎である」ため、AAのウェブサイトにおいても常にアノニミティを実践している。AAのウェブサイトは公のメディアであり、ほかの方法では考えられないほど多くの人たちに届く可能性があり、だからこそ、新聞、ラジオ、映画の分野と同じ安全手段が必要になる。

デジタル・メディアを使う場合、自分のアノニミティだけでなく、他の人のアノニミティに対しても責任がある。投稿したり、メッセージやブログを掲載するとき、私たちは公のレベルで発表しているのだと考えるべきである。インターネット上の意見交換の場に参加して自分のアノニミティを破ってしまうことがあれば、知らないうちに他の人のアノニミティも破っているかもしれないのである。

インターネット上のアノニミティについての詳細は、AAパンフレット『アノニミティとは』や、AAグレープバイン誌 2010 年 10 月号の「インターネット上でのアノニミティ」の特集記事を参照していただきたい。

一般のソーシャルネットワーキング (SNS) サイト

フェイスブックなどのソーシャルネットワーキングサイトと呼ばれているウェブサイトは、事実上、公開された場だといえる。アカウントを作成しユーザー名とパスワードを使用してはいても、サイトに入ればそこは公のメディアであり、AAメンバーもそうでない人も入り交っている。

個人が、自分はAAメンバーだと名乗らない限り問題が起こることはない。しかし、フルネームや、顔写真などフルネームに類したものを使えば、伝統 11 の精神に反することになるだろう。伝統 11 はその長文の中で、「……AAメンバーとして名前や写真を、電波、映像、活字にのせるべきではない」と述べている。

経験から、ウェブサイトやブログ、掲示板などと同様、ソーシャルネットワーキングサイトでも、伝統 11 に従い、AAメンバーであることを公表しないように提案されている。そこは、AAメンバーだけで構成されているわけではなく、パスワードの保護いかんに関わらず、誰でもアクセスできる場所だからである。

ソーシャルネットワーキングサイトでは、自分自身や他の人に関する個人情報を大量に投稿することによって、

友人・知人の輪が広がっていく。プロフィールや「近況」の欄などに、AAを暗示するような言葉を一切投稿しないというAAメンバーがいる一方で、AAやアルコールクス・アノニマスと具体的に言わない限り問題ないと感じているメンバーもいるようである。

このようなサイトではたいがい、友人・知人たちの「グループ」を作り、同じ考えを持った人たち向けの「イベント」に他の人を招待することができる。これを利用して、AAに関連したグループを作るAAメンバーもいる。これは比較的新しいメディアなので、AAメンバーは「使いながら学習する」ことがしばしばである。事実、技術やソフトウェアは日々変化している。ソーシャルネットワーキングサイトの基盤となるソフトウェアは、進化の途上にあるため、このようなメディアをAAの目的に利用するための明確なガイドラインを示すのはむずかしいということが、経験から分かってきた。このような公の分野へ足を踏み入れようと考えているどのAAグループやメンバーでも、AAのアノニミティの伝統という観点から、サイトのプライバシーポリシー（個人情報保護方針）を詳細に検討すべきだ。例えば、公のメディアでは、フルネームや顔写真を公開するのを避けるというAAのやり方に反して、ソーシャルネットワーキングサイトにおいて、グループメンバーのフルネームと写真を掲載していることがよくある。たとえ「非公開」や「個人用」のグループであっても、個人が特定されるかもしれない。そのようなグループに参加したり始めたりする前に、十分に情報を得ていることが、自分の、そして他の人のアノニミティを守るために重要である。

GSO は、インターネット上のアノニミティ違反やAAの名称の不適切な使用、著作権で保護された資料や登録商標が、フェイスブックや他のソーシャルネットワーキングウェブサイト上で不適切に使われているなど、数え切れないほど多くの苦情を受け取ってきた。どのオンライン（インターネット上の）AAグループも、AA以外の機関も、AAの代弁者とはなりえないし、GSO やAAワールドサービス(AAWS) 社、常任理事会を代表しているかのように振る舞うべきではない。AAの各機関は自主的に運営され、12の伝統に示されている指針に照らして、十分に情報を伝えられたグループの良心により決定を下すように勧められている。

フェイスブックや他のソーシャルネットワーキングウェブサイトで、伝統から外れないようにするにはどうしたらよいか提案してほしいと、AAメンバーがGSO にたびたび連絡してくる。GSO のスタッフメンバーは、多様な「テクノロジーのマジック」の「専門家」ではない。AAの 12 の伝統と、アメリカ／カナダのAA共同体で分かち合われた経験に関して、情報源としての役割を担っているということを忘れないで欲しい。新しいテクノロジーの中でAAの霊的原理がどのような役割を果たすかは、インターネット上で活動しているAAの各個人や機関によって注意深く検討される必要がある。

AAのウェブサイトー地元のウェブサイトの開設

アルコールクス・アノニマスの共同体における決定は、通常、十分に情報を伝えられたグループの良心に基づいてなされ、ウェブサイトを開設する決定においても違いはない。AAの経験から、地域であれ地区であれ、セントラルオフィスであれインターグループであれ、伝統に関係する可能性のある問題を含むその計画の全側面を検討するために、委員会を設置することが提案されている。

地元のAA共同体を代表する良心を導き出す方法と、委員会の進捗状況を（影響が及ぶ範囲内の）地元のグループや地区、その地域のセントラル／インターグループオフィスに伝える方法について、早い段階で合意しておくことが重要である。委員会がウェブサイトの役割と責任、その範囲について合意したなら、その内容は地区や地域全体で分かち合われ、ウェブサイトの開設を進めるかどうかについて、十分に情報を伝えられたグループの良心の投票によって決定される。ここで、この分野の専門家に技術的な質問をするのもいいだろう。

霊的な事柄

AAの情報を伝える手段としてテクノロジーを検討する場合、個人的で直接的な分かち合いというAAの強さと歴史から考えると、「一人の酔っぱらいがもう一人の酔っぱらいに話をする」という霊的な本質を避けて通ることは

できない。インターネットに詳しいメンバーでさえ、その多くが、AA共同体とアルコールズムからの回復にとって必要不可欠な一対一の分かち合いを損なってまで、新しいテクノロジーの利便性を望むことはないと言っている。私たちの行動のスピードをテクノロジーのスピードに合わせる必要はない、ということに留意したい。

現在までに分かち合われた経験に基づいて、ウェブサイト委員会は、開設にあたっての技術的な面を話し合うだけでなく、一人のアルコールリクがもう一人のアルコールリクに話をするそこから生まれる霊的なつながりを失わないようにするという問題にも取り組んでいる。

あまりにもテクノロジーに頼りすぎると「人間味」が失われてしまう、と報告する委員会がある一方で、テクノロジーと人間味のバランスをとってきたという委員会もある。AAウェブサイトの内容として、何が有用で何が適切かを決めるのは、ウェブサイト委員会の十分に情報を伝えられたグループの良心次第である。今日決定を下したとしても、見直すことや、変更すること、中止すること、また発展させることもできる、これは良い知らせである。委員会はいつでも、ある期間やってみて、そして振り返り、うまくいっているかどうか判断することができる。これこそがAAのやり方といえるだろう。

ウェブサイトの役割と責任

十分に情報を伝えられたグループの良心が形づくられ、AAウェブサイトの内容や方針、サイトの開設と維持に関する手順を決める段階にきたら、ウェブマスター(ウェブサイト管理者)を指名、または選出するように提案されている。ウェブマスターはウェブサイト委員会あるいは奉仕するグループに対して責任を負う。

ある地域の経験を紹介しよう。この地域のウェブサイト委員会は6名で構成されており、ウェブチェアパーソン、地域の広報チェアパーソン、地区委員、元評議員、代議員、特別メンバーである。後に挙げた3名はウェブチェアパーソンが指名し、任期は2年である。これに加えて、ウェブマスター、ウェブマスター代理、そして、他の特別メンバーがウェブサイトの日々の更新作業を担当する。(ウェブマスターが地元のミーティング情報の更新作業を担当するのは、効率的とはいえないことが経験から示されている)。

独自のウェブサイトガイドラインを作っている委員会もある。このガイドラインには、サイトの目的やコンテンツ(サイトの内容)の詳細、コンテンツの追加や削除の手順、委員会の輪番のスケジュール、ウェブサイト委員会と更新作業チーム(例えばウェブマスターとその代理)の違いについて書かれている。それが妥当であるなら、ウェブサイト委員会とウェブチームの範囲と責任の概要をガイドラインにするとよいだろう。

ドメイン名の選択

ドメイン名の選択も、他の重要な事柄と同様、十分に情報を伝えられたグループの良心によって決定されるべきである。アルコールリクス・アノニマスが所有する商標とサービスマークを守っていくために、ウェブサイト委員会は、「AA」や「Alcoholics Anonymous」、「The Big Book」をドメイン名に使用することを避けるように要請されている。サービス機関の多くが、小文字の「aa」と他の識別情報とを組み合わせでドメイン名としていることが多い(例えば、www.aacentraloffice.org や www.area999aa.org)。この方法はAAの商標とサービスマークを支持する前向きな解決策であることが証明されている。

ウェブサイトのコンテンツ(内容)

AAの出版物が著作権で保護されているのと同様、ウェブサイトに掲載される資料も著作権で保護されている。コンテンツにAAWSや月刊誌AAグレープバイン、ラ・ヴィーニャ(スペイン語版グレープバイン)の著作物を含めるには、GSOの許可を得る必要がある。

AAの地域や地区、セントラル／インターグループオフィスのウェブサイトでは、AA出版物——例えば、『ビッグ・ブック(アルコールクス・アノニマス)』、『12のステップと12の伝統』、『AAサービスマニュアル』、評議会承認パンフレットなど——から抜粋された語句や文、短い段落などであれば、書面による事前の申請なしに引用することができる。このような場合、AA出版物の著作権が確実に守られるように、適切なクレジットラインを表示する必要がある。書籍またはパンフレットからの短い引用の後には、以下のクレジットラインを明記する。

AAワールド・サービス社の許可のもと、『印刷物の名前』、〇〇ページより再録

AAの「序文」はAAグレイプバイン社に著作権がある。AAの序文やグレイプバインの記事、漫画を再録する場合には、次のように明記する。

AAグレイプバイン社の許可のもと、グレイプバイン(発行年月日)より再録

GSO あるいはAAグレイプバイン社のウェブサイト、現在掲載されているものについては、再録しないようお願いする。その代わりに、www.aa.org と www.aagrapevine.org の適切なページにリンクしていただきたい。

サービス議事録や報告書の掲載

どのようなコンテンツを公開のウェブサイトに掲載するかを決めるにあたっては、注意深く検討する必要がある。会議の議事録や報告書、参考資料が、ウェブサイト上で広範囲の人々に簡単に利用できるのは、確かに有益であるが、これらの文書が公のメディアに転載される可能性に留意することが極めて重要である。どの文書にもAAメンバーのフルネームが含まれていないことを確実にするため、内容をチェックし編集する必要がある。

フルネームや個人の電話番号、E メールが記載されたAAメンバー専用の議事録と、委員会の公開ウェブサイト用に、名前や個人の連絡先をすべて削除した別のバージョンの報告書を作成している委員会もある。

次に挙げる人たちも、地元のAAメンバーと同じくAAメンバーであり、公の場に掲載される報告書や広報のチラシにフルネームや写真を載せないでいただきたい。常任理事会 B 類(アルコール)理事、AAWS 社とグレイプバイン社の役員、GSO 職員、グレイプバインとラヴィーニャの職員の一部がそうである。報告書にフルネームを載せることに関して確証がない場合、前もって許可を求めておくとういだろう。

パスワードで保護されたAAメンバー専用のウェブサイトでは、フルネームや個人の連絡先の掲載はまったく問題がないと考える委員会があるかも知れない。そのように結論づけるのは、十分に情報を伝えられたグループの良心次第である。

AAのイベントのチラシに載せる個人の電話番号

最近までAAメンバーは、AAイベントの案内チラシに、ファーストネームと名字のイニシャルと個人の電話番号を掲載することにあまり注意を払ってこなかった。これらのチラシは通常、AAミーティングの中だけで配られるか、他のAAイベントでテーブルに置かれたりメンバーに配られたりするものだからである。しかし現在では、イベントのチラシは簡単にウェブサイト上にアップロードし閲覧できるため、一般の人たちも見ることができる。

インターネット上の検索サービスにより、電話番号を利用して、フルネームや場合によっては他の個人情報を探し出すことも可能になった。個人の電話番号をチラシに掲載することについて、AAメンバーのあいだで不安が広がるようなら、イベント実行委員会は、連絡先にイベント専用の E メールアドレスを使うなどの方法を検討すべきだろう。

AAウェブサイトの「非公開」部分

地区や地域によっては、ウェブサイトの特典部分を「非公開」にし、そこに入るためのユーザー名とパスワードを必要とするようにしている。ウェブマスターか他の任されたしもべに、自分がAAメンバーだと告げるだけで、ユーザー名とパスワードを手に入れられる場合もあるし、特定のサービスの役割に就いている人だけが非公開部分にアクセスできる場合もある。

ウェブサイトにパスワードで保護された部分を作ろうと考えているウェブサイト委員会は、次に挙げることを検討するとよいだろう。どのコンテンツを公開にし、どのコンテンツを非公開にするか。誰にどのような方法で非公開情報にアクセスする権利を与えるか。ユーザー名とパスワードをどのような方法でやり取りし、保管し、そしてまた維持管理していくか。

この非公開部分を、ミーティング情報の変更や更新、任されたしもべの連絡情報のために使用しているウェブサイトもある。作業者にウェブサイトやデータベースの内容を変更する資格を与える場合、委員会は注意して進めるのがよいだろう。資格を持つメンバーは、使用されているソフトウェアに習熟しておく必要があるかもしれない。また、委員会は、内容の正確さをチェックする人を別に指名しておくといよい。

現在までのところ、AA以外の人たちがこのような非公開部分からAAの内部情報を読み出すといった大きな問題は報告されていない。しかし、ウェブサイト委員会は、AA内部情報をどのように保護するか、また、セキュリティの抜け穴をどのように回避するかについて検討しておくのがよいだろう。

これまでAAで分かち合われた経験から、パスワードで保護されたウェブサイトであれば、フルネームを使うことも個人の連絡情報を載せることも抵抗がないと感じているAAメンバーがいる。しかし一方で、パスワードで保護されていても、コミュニケーション目的のこのような情報をウェブサイトに載せるのは抵抗があると感じている人もいる。委員会は通常、メンバーが新しいコミュニケーションのやり方ができるように注意深く手助けするが、要望に応じて、AAの文書を郵送するという選択肢も提供し続けている。

GSO は、非公開でパスワード保護されたAAのサイトについて多少の経験がある。最初はAAWS 社の役員が、続いて常任理事会の理事が、「ダッシュボード」経由で参考資料を受け取ることに同意した。「ダッシュボード」とは、ユーザー名とパスワードで保護されたインターネット上のコミュニケーションツールの一つである。2008 年には評議会のメンバーも、初めて、非公開のダッシュボード上で参考資料を受け取った。(どの評議会メンバーも参考資料を受け取る方法として、CD や印刷物も選択できる。)

アノニミティと E メール

電子メールは、コミュニケーションの手段として幅広く使われ、受け入れられている。今ではAAでもサービスのツールとして当たり前のように使われているが、他のサービスの場合と同様に、こうしたコミュニケーションに大きなメリットがあるとしても、AA共同体の伝統が確実に守られるようにする必要がある。

E メールを使用する場合、メール受信者のアノニミティを考慮する必要がある。複数の宛先にメールを送る場合に、宛先欄に全員のEメールアドレスが見える形にすると、他の人のアノニミティを破る可能性がある。だから、AAでの文書交換にEメールアドレスを使う場合、相手に了解を得ておくのがいいだろう。職場のEメールアドレスを使う場合はなおさらである。アノニマスであることを望んでいる複数の受信者にAAのメールを送る場合は、ほとんどのコンピュータで利用可能なBCC(宛先が他の受信者に見えない)を使って送ることができる。

AAにおけるEメール——利用形態、アドレス、輪番制

個人的にパソコンやノートパソコンを持たなくても、E メールを利用することはできる。サービス活動をするコン

コンピュータを持たない多くのAAメンバーは、無料のEメールサービスを使ってアカウントを取得し、これをAAのEメールサービス専用に行っている。これらのEメールアカウントは、公共図書館やインターネットカフェ、インターネットのサービスが利用できる場所であればどこでも確認できる。

AAのサービスポジションのために、役割名のEメールアドレスを使っていれば、交替時に一人の任されたしもべから次の人にそのまま引き継ぐことができる。例えば、サンプルの pichaird10a7@area999.com (地域 999 の PI チェア) の E メールアドレスとアカウントは、役割を示すアドレスを維持しながら、交替時に次の担当者へと引き継ぐことができる。

専門家に宛てる E メールでフルネームを使用する場合

専門家とEメールで連絡を取る場合は、次の2点に注意したい。一つは、容易に転送できるという点。もう一つは、容易に切り貼りし内容に変更を加え、ウェブサイトにアップロードできるという点である。

「AAの友人」である専門家はこうに言っている。専門家協力(CPC)や広報(PI)サービスが目的の場合、フルネームを使用して専門的なイメージを持たせれば、手紙やEメールに信頼性を持たせることができる。

GSO の広報コーディネーターはマスメディアからのEメールや手紙に回答する場合、次のように署名している。

敬具

広報コーディネーター ジョン・ドウ (名前は公表しないでください)

パソコン上のアノニミティ

「私は自分のコンピュータを持っているので、アドレス帳にあるAAメンバーのアノニミティについてはなんの心配もない」と考えているAAメンバーもいる。しかし、その気になった誰かがユーザー名とパスワードを手に入れて、他人のEメールアカウントにアクセスする可能性がないとは言えない。できればそのような侵入行為は起こらないでほしいが、できる限り推測不可能なパスワードを選択し、非公開にしておくのが賢明だろう。

厳重にガードされたEメールアカウントであっても、コンピュータのエキスパートによって不正に操作されてしまうことがある。とはいえ、多くのAAメンバーや委員会メンバーが、それを承知の上で、分別と常識をわきまながらこのリスクを負っている。

家庭で使っているパソコンやマック、ノートパソコン、携帯やスマートフォンにあるAA連絡用のアドレス帳は、もしこれらの機器を複数の人間で使用しているなら、友人や家族に見られる可能性を考慮しておくべきだろう。

スパムメールの危険性

サービス、特に専門家協力(CPC)や広報(PI)の企画にインターネットを利用して取り組むにあたり、どうするのがベストかを決めるのは、十分に情報を伝えられたその委員会のグループの良心である。

AAメンバーは、AAサービスのための、ダイレクトメールのような一方的な大量メールを送信しないよう強く提案されている。そのようなことをすれば、AAの名前を公の論争に持ち込み、AA全体の評判にダメージを与えかねない。このような行為は法律に違反するかもしれず、Eメールとスパムに関する地元と国の法律について知っておくべきである。

代わりに委員会は、宛先を少数に留めることや、1人ずつ送信することを検討できるだろう。送信したメールがスパムフィルタにブロックされることもあるだろう。そのための、別の手段を準備しておく必要がある。AAメンバーが個人的に連絡を続けることに加え、専門家や一般の人たちと関係を持つ上で効果的な方法は、

GSO のウェブサイトへのリンクを提供することである。

オンライン（インターネット上）のAAスピーカー

以前にも増して、AAスピーカーの音声ファイルがインターネット上に広がっているという報告が、メンバーから寄せられている。自分のAAにおける物語が公開されていることに異議がある場合は、そのサイトのウェブマスターに連絡して、削除を求めるのがよいだろう。

多くのメンバーが、GSO サービス資料であるAAガイドライン『コンファレンス／コンベンション』で述べられている、AAイベントでスピーカーをする人への提案（音声録音ガイドラインの 3）に従って行動し、よい結果を得ている。（訳注：この項目はまだ翻訳されていない）

フルネームを使わないよう、そして、話に登場する第三者のフルネームを明かさないう奨励することが最善であると、経験は示している。スピーカーがフルネームを使わないこと、そして、録音会社や録音をする人たちが、音源のラベルやカタログにスピーカーのフルネームや肩書き、サービスの役割、内容を表示しないようにすることで、アノニミティの伝統の力は強められていく。また、将来、一般に公開されるウェブサイトで再生するために録音をするAAメンバーは、自分や自分の家族が特定できるような部分を消去することもできるだろう。

2008 年に理事会の広報委員会は、GSO に対して、インターネット上でスピーカーの音源を提供している会社と連絡をとり、公のレベルにおけるアノニミティの伝統についてあらためて説明し、協力を求めるよう要請した。

オンライン（インターネット上）のAAミーティング

通常のAAミーティング同様、オンラインのAAミーティングも自主的に運営されている。中心となる地理的所在地がないため、オンラインAAミーティングはアメリカ／カナダのサービス機構には直接含まれていない。そのため、AAメンバーは、実際に居住している場所のAAのサービスに参加することや、地元のグループの良心が導き出される場に参加することが勧められている。なお、ビジネスミーティングを行い、伝統7に基づいて献金を集めるオンラインAAミーティングもある。

インターネット・ストリーミング（音声／映像配信）とウェブ会議

コンピュータや E メール、インターネットの利用に関するAAメンバーの経験はさまざまである。すべてのAAメンバーがコンピュータを持っているわけではないし、利用する人のすべてがこのようなテクノロジーを使いこなしているわけではないことを忘れないようにしたい。たった今、初めて E メールアカウントにログインしたばかりの人であれば、「インターネット・ストリーミング」や「テレビ会議システム」、「ウェブ会議」などについて話している人たちもいる。

これらのテーマは比較的新しいものなので、GSO は分かち合われた経験を集めているところである。ある地区では、代議員が集会の開催地に出かけなくても地域集会に参加できるよう、インターネット・ストリーミングやテレビ会議あるいはウェブ会議システムの利用を考えている。映像と音声による会議や、音声のみによる会議、一方向のストリーミング映像に加えて音声とチャットでのやり取り、といった選択肢を検討しているようである。

今では技術的にさまざまな選択が可能であり、さらに多くのものが日々開発されつつある。しかし前半で述べたように、委員会がテクノロジーの進歩のスピードに影響されるあまり、AAを中心に置いた慎重な決定とは対照的な、性急な結論を出さないことが重要である。もちろん、すべての決定は、公のレベルにおけるAAメンバーのアノニミティに関するあらゆる状況を十分に考慮したものでなければならない。

地元で分かち合われた経験が求められている

この進化しつつあるインターネット時代において、AAのコミュニケーションがどのように発展していくかを定めるのは、地元のAAのニーズと経験である。不明な点や、自分たちのウェブサイト委員会の経験を分かち合ってもらえるなら、ぜひ GSO まで連絡いただきたい。(訳注：日本の連絡先を掲載)

NPO 法人 AA日本ゼネラルサービス(JSO)

住所：〒112-0012 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

Tel. 03-3590-5377

許可なく複写・複製・転載を禁じます